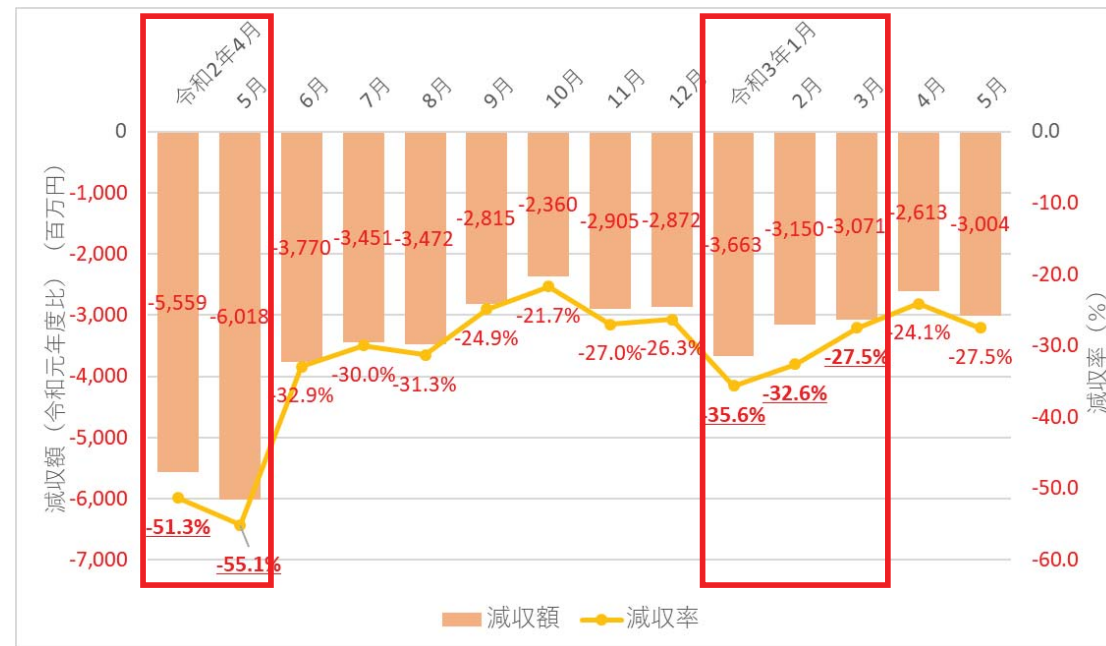


横浜市内において運行する乗合バス事業者の運送収入について

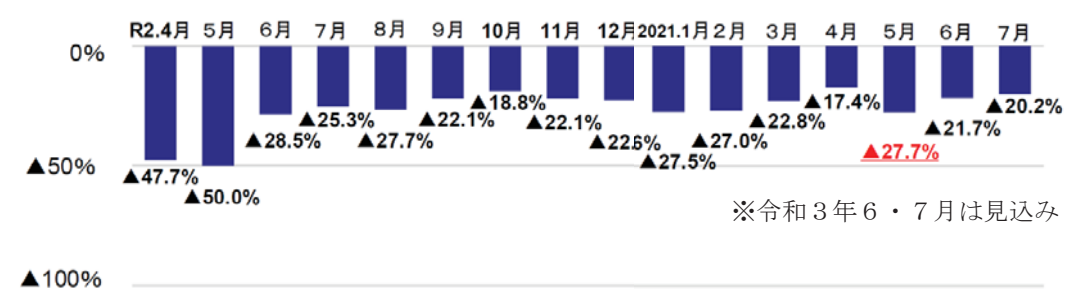
○ 乗合バス事業者の運送収入（令和元年度同月比）



資料) (一社) 神奈川県バス協会資料より横浜市作成

- 新型コロナウイルスの感染が拡大した令和2年4月以降、運送収入は感染拡大前（令和元年度）と比較して大幅に減少しています。
- 特に、緊急事態宣言の発令期間（赤枠部分）の減少が顕著です。
- 緊急事態宣言の発令期間以外においても、コロナ前の数値には戻っておらず、減収率は概ね20~30%前後で推移している状況です。  
運送収入の減少が長期化しています。

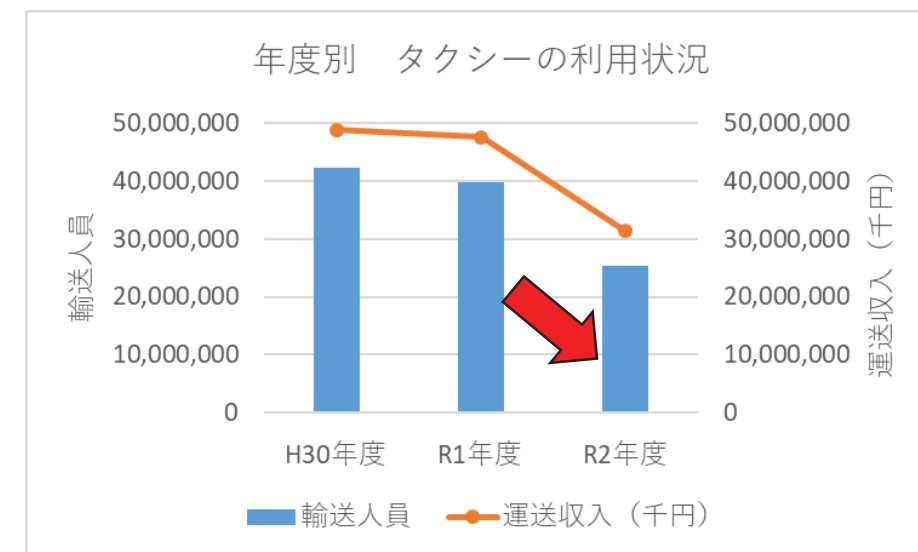
(参考：全国の乗合バスの輸送人員（令和元年度同月比）)



資料) 国土交通省資料（一部横浜市加工）

横浜市内におけるタクシーの利用状況について

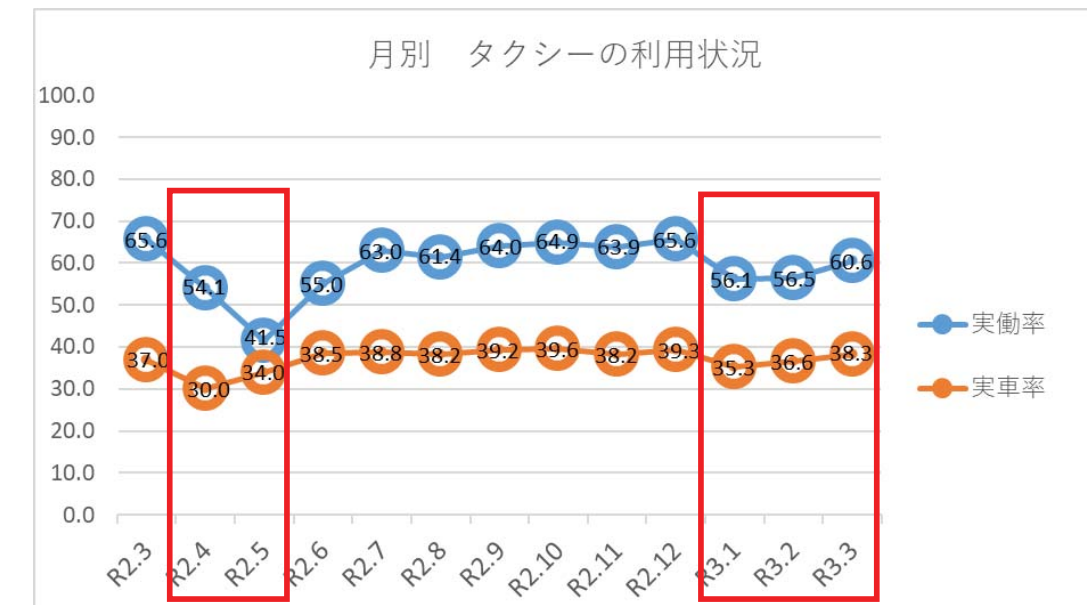
○ 年度別タクシーの利用状況について



資料) (一社) 神奈川県タクシー協会横浜支部資料より横浜市作成

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）は、対過年度比で輸送人員・運送収入ともに約60~65%程度に落ち込んでいます。

○ 緊急事態宣言による影響は特に顕著



資料) (一社) 神奈川県タクシー協会横浜支部資料より横浜市作成

- 特に、緊急事態宣言の発令期間（赤枠部分）のタクシーの実働率・実車率（乗客を乗せて運行した率）の落ち込みが顕著です。